

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部

令和三年度八月 入賞句一覧

投句数 五百七十七句



特選

田中 青志 選

ほうたるの闇を帰りて灯しけり

大垣市

清水

登美子

蛍狩の対象は暗い、暗い対象を見続けて家に帰る。消してあつた部屋の明かりをつける。ぱつと世の中が変わる明るさ。夜空に舞い、そして水辺の闇を明滅しながら飛び交う蛍に凝らした目には異様な明るさである。蛍の光りに恋の思いを託し、あるいは魂になぞらえて詩歌に詠まれた世界から帰ってきた興奮覚めやらぬ思いで座つていい私。

新涼や赤子に指を握られて

埼玉県川口市

吉永

寿美子

新涼とは、立秋を過ぎて夏とは違うしみじみとした涼しさを感じることを言う。指を握れる位までに育つた子、いよいよ可愛さの増すころだ。貫つて帰つてもいいのかなと思わせる人なつこい笑顔である。握られる指の柔らかさ、温かさ、これぞ新涼感のなにもものでもない感触である。

登山宿雲湧き上る高さかな

岐阜市

花川

和久

恐らく登山宿は標高千は越す、あるいは二千に近い登山宿なのであろうか、下界とは雲のあり方も、動きも、全然違う感動の新鮮さであることが「雲湧き上がる高さ」に表現されている。やがて雲海の先に現れるであろうご来光に心の弾むひとときもある。今日は更に高き目的地を目指し、新しい感動を得るためにスタートする緊張感が伝わってくるよろしさがある。

秀逸

淋しさは言はぬハンカチ濯ぎけり

埼玉県川口市

木下

洋子

小さければ蟻躊躇なくつぶさるる

大垣市

柏瀬

澄子

甘酒や一人暮らしの処方箋

大垣市

吉田

てるみ

むらさきのドレス広げて花菖蒲

大垣市

大杉

すみゑ

夏休み子の物ふへて洗面所

東京都世田谷区

関戸

信治

背番号無き少年の夏終はる

大垣市

宮脇

和子

青田波かつて破堤の輪中村

養老郡養老町

田中

紫香

もぎたてのきゆうりかじりし田んぼ道

大垣市

吉田

しず子

赤とんぼジャングルジムのおにごっこ

大垣市

松岡

みつ

一つ足す記念バッジや登山帽

京都府京都市

石田

吉之助

入選

ワクチンの予約のとれぬ酷暑かな

大垣市

森 茂寿

山青し青田の青と競い合い

本巢郡北方町

三輪 幸恵

戦なきことの幸せ冷奴

福井県敦賀市

山田 美千代

涼風をマスクに入れて散歩かな

大垣市

澤井 国造

人生の卒寿過ぎゆく秋の暮

愛知県額田郡

平松 京師

追いつめてついに捕えし出目金魚

大垣市

大原 巖

夏空をかける五輪の色五つ

大垣市

田中 雅子

目に見えぬ道のあるなり蟻の列

大垣市

矢代 由美子

大根蒔く今も昭和の農曆

大垣市

村田 通夫

接種後の安堵の日々や冷奴

大垣市

佐竹 余史美

せせらぎに耳をあづけて夏料理

大垣市

坪井 克枝

たつぷりと鉢に水やる大暑かな

不破郡垂井町

高木 初枝

息災を地藏に祈る大暑かな

不破郡垂井町

上田 秀悦

夕立に軒先借りてしばし待つ

岐阜市

浅野 郁子

梅漬けて今年の仕事一つすむ

安八郡神戸町

高橋 日出美

大釘に父の作りし蛍かご

神奈川県川崎市

佐藤 廣枝

夏雲や魚を住まわせ難破船

神奈川県相模原市

中村 光枝

百年は母に短し百日紅

長野県下伊那郡

長沼 まさし

向日葵の駅で交代縄電車

兵庫県豊岡市

辻井 一路

草刈や草の匂ひを刈り尽くす

神奈川県横浜市

龍野 ひろし

選者吟

新涼や初めて出来て逆上がり

青志

一般の部

